

1 参加者 学校協議会委員 6名, 校長, 学校事務局 6名

2 報告概要

① 平成29年度学校経営計画：進捗状況報告

《全体説明》

「進路指導の確立」

- ・自己を知るために学力生活実態調査や適性検査を実施し、それに関する職員研修、生徒向け講演会を実施しました。
- ・「3点チェック（固定）」による生活及び自宅学習の習慣を確立させる指導、大学のイメージを具体化させるために1年生全員による大学訪問（関西大学）等、入学時からの進路指導の組織的取り組みを実施しています。
- ・7月と11月に教科担当者面談（教科面談）を実施しました。
センター試験の出願率は昨年度よりも7%伸び59%となりました。今年度入学生に対しては「全員がセンターを受験する」という姿勢で指導しています。
- ・3年3学期の授業は午前中のみとし、午後は進学講習等を実施することとしました。

「『確かな学力』の育成と教員の授業力向上」

- ・食堂改修による自習室整備を行っています。1, 2年生ではテキストを用いて、今後ますます必要となる論理的思考力育成の取り組みを行っています。
- ・第1回授業アンケートで「授業が分かりやすい」が80%となりました。第2回授業研修は4グループに分かれて課題検討を予定しています。

「人間性の育成」

- ・未然防止も兼ねて10月に「いじめアンケート」を実施しました。重大な事象や深刻な「いじめ」はありませんでした。
- ・新たに海外交流事業を立ち上げ、今夏にオーストラリア（シドニーとパース）の現地校で31名の生徒が様々な経験をしました。

《生活指導》

遅刻はこの3年間、減少傾向です。しかし、2学期中間考査以降、3年生が増加傾向となっており、その点が気になります。学校の雰囲気づくりが大切だと思います。特に教員からの雰囲気づくりを重視していく必要があります。通学マナー（自転車や徒歩）の指導が困難な状況にあります。昨年度は警察にも協力依頼し、指導しました。来週13日（月）～17日（金）に「遅刻防止強化週間」を実施します。強化項目は、①自転車通学マナー向上 ②化粧・ピアス指導 の2点です。

《教務関係》

現行の教育課程のマイナーチェンジを予定しています。具体的には、2年次理科の必修科目と選択科目の変更を検討しています。

《進路指導関係》

初期指導として新入生に対し、学習習慣を位置付けさせるため、1学期に3点チェック（＝生活と学習の記録）。生徒が毎朝、「起床・自宅学習開始・就寝時刻」を教室で記入し、毎月曜日に1週間分の記録を進路指導部へ提出を実施しました。

アンケートによると、「学習習慣が身についた」生徒が35%、「自分にとって良かった」生徒が40%おり、成果があったと考えています。

この取り組みは、1学期と2学期最初の1週間だけ行いました。今後は自力で学習習慣を維持するよう頑張ってもらいたいと思っています。

《教科面談》

7月に1回目、現在11月懇談週間と並行して2回目を実施中です。クラス担任による生徒面談はどこでもやっています。その中で担任の専門外の教科に関して具体的な指導は、なかなかうまくできないのが現状です。

この教科面談は授業担当者が成績だけでなく、学力生活実態調査結果・進路希望・考査成績・授業参加状態・次年度選択希望等を一定の基準として面談生徒を選定して行います。この面談の中で生徒から聞き取りを行い、勉強法などの学習アドバイス・進路に関するガイダンス等を具体的にを行い、サポートしていくという取り組みです。

7月は全生徒に対してアンケートを行い、約1割の生徒が面談を希望し、その生徒対象に実施しました。「進

路がハッキリした」「勉強法が分かった」等の感想が出されました。

11月は学力生活実態調査結果で「勉強しているが、成績に反映できていない生徒」・進路希望・考査成績・授業参加状態・次年度選択希望等の基準で選定し、面談を始めたところです。

《授業アンケート》

毎年、年2回実施しています。今年度は7月に実施、次は12月を予定しています。僅かずつですが、各質問項目の平均値が上がってきています。また、数値だけでなく、自由記述で出された生徒の意見を学年別に「肯定的意見」・「改善要望意見・否定的意見」に分けて、代表的なものを全教員に示しています。

アンケート結果を基に各教員・教科・学年で成果・課題を検討し、その結果を元に具体的に授業で今後意識的に取り組むべき項目を整理するとともに、近年の課題である文章読解力・表現力・記述力・課題解決力等を生徒に身に付けさせるため、「Critical Thinking」等の取り組みを今後どのように進めるかを提起しています。

《授業研修》

この1～2年、自分の教科を越えて授業見学を実施する、という観点で取り組んでいます。

今年度の2回目は次の2点を中心に授業研修を行う予定です。①全教員が初任者の授業を見学 ②初任者が全教員の授業を見学。

そして11月24日には4グループに分かれ、前半は公開授業そのものについて、後半は授業アンケート等で示されている課題について協議する予定です。

《部活動》

今年度5月現在の部活動加入率は約80%でした。この2年連続で加入率が低下しています。前回協議会でもお伝えしたように、2年連続で1年生男子の加入率が低くなっており、この半年で一定数の退部者が出て、さらに加入率が下がったのが原因です。

1年生男子の加入率が2年連続で低い原因を明らかにする必要があり、保護者懇談の際に、その旨を聞き取るよう1年担任に依頼しています。

《海外研修》

8月に初めての海外研修をPTA・同窓会の協力の下、オーストラリアで行いました。初年度でしたので、希望者全員を連れて行くこと・1家庭に必ず生徒1名のみのホームステイにこだわり、結局2グループ合計31名（パースへは14名、シドニー郊外は17名）を参加させました。アンケートによると全参加者の満足度は高く、英語学習や異文化体験とともにオーストラリアが多民族で構成されていることを身を持って体験したことも有意義な点でした。

また、学校全体に還元するため文化祭でグループごとに「展示」を行いました。

② 学校経営推進費事業：「刀根山・里山活用プロジェクト～人を育てる拠点として～」

本プロジェクトは3年計画で、今年度は2年目です。①裏山のスロープ改修・案内マップ作成配布・樹木名プレート設置などの環境整備 ②「ワークショップ：高大連携」－現在、兵庫県立大学と神戸女学院大学の2大学と提携しています。今年は11月18日（土）に石田 弘明 兵庫県立大学教授による「市街地の里山林について～保全と活用」の講演、11月19日（日）遠藤 知二 神戸女学院大学教授と学生による実習「ハチ類の竹筒トラップ調査」を生徒や教職員等に呼びかけて行います。③「ワークショップ：地域連携」－5月6日（土）竹のワークショップ、8月21日（月）そうめん流し、11月3日（金）ドングリの種類集めとドングリ団子づくり、11月26日（日）芋煮会・里山体験等です。

このように裏山を利用して地域の大人や子供そして大学生等と本校生が「斜めの関係」で接し、その中で色々な刺激を受け、自尊感情や進路意識を高めることを本プロジェクトの大きな目標としています。

③ 「刀根山 夢の扉プロジェクト」

同窓会の協力の下、食堂をリニューアルし、単なる「食べる場所」から「自習室機能」、協同学習機能、授業やHRでのグループワークの場、さらには地域や大学関係者との触れ合いの場とし、学習のモチベーション高揚につなげる等を行うプロジェクトです。

現時点では壁・天井・床のリニューアル、蛍光灯更新、ロールカーテン設置まで終了し、今月18日（土）に新しいテーブル・イスが搬入される予定です。それ以降にまずは自習室としての利用を開始します。

3 協議概要

《通学マナー》

- ・苦情電話があると聞きますが、どのような内容ですか。

通学マナー、特に自転車の乗り方や通用門を出た所にある自動販売機前で生徒がたまって、騒がしいという内容が多いです。

つい最近、チャイムや放送がうるさいという電話もありました。その度に必要な指導や対応を行っています。

・刀根山坂の下の所は、生徒が多い時には自動車が動けない状態になります。地域でもそのことは把握しています。そんな中を高校生の自転車が突っ切っていくことが問題となっています。

・柴原方面は特に道が狭く、高校生の自転車が 많습니다。ぎりぎりまで家で寝て、急いで登校することのないようにしてほしいです。学校で出来る事には限りがあるので、家庭との協力が必要と思います。

《授業改善・「初期指導」》

- ・授業への取り組みは非常に細かくやっていると思いますが、一方で生徒は与えられ過ぎているようにも思います。高校生の自立も必要です。その点を意識しながら指導する必要があります。

・1年生の「初期指導」、学年と進路指導部とが協力し、組織的に実施しました。その結果と思いますが、第2回学力学習実態調査は、良い結果が出ました。手をかければこのような結果が出る、生徒の自立も考えながら今後も指導していくつもりです。

《地域での取り組み・震災時の協力》

・先日、地域での「自分の命を守る勉強会」に東北ボランティアに参加した2名の刀根山高校生が参加し、地域の子供に話をしてくれました。子供たちも良く聞いていました。感謝しています。

・地域では震災時に地元の中高生の協力をいかに受けるかが課題となっています。何かあった時に声掛けする必要のある住民が200名以上います。土日は地域で対応できますが、平日は高校生の力を借りることが必要になってきます。

その内容を今後具体化して行かないと、いざという時には動けません。どこかで高校と話し合いをしたいと思っています。

《海外研修：オーストラリアでのホームステイ》

- ・今後の展望は、

現1, 2年生に事前希望調査を実施しました。一定数の希望者がいるので、次年度も実施予定です。行先はたぶんオーストラリアの1都市になると思います。旅行社と来週から協議する予定です。

4 その他

関係法令改正のため次年度より「学校運営協議会」への移行が行われます。第3回協議会にて詳細説明を予定しています。

☆次回、第3回協議会は2月5日（月）午後3時30分～